

平成28年度 学校評価(自己評価)のまとめ

平成29年3月1日
兵庫県立北摂三田高等学校

部署	学校経営の重点	各部・学年の重点目標		評価指標	評価1 自己評価	評価2 自己評価	評価3	学校関係者 評価	
		項目	実践項目 具体的な活動・取組項目						
1年	1 生徒の「学の究め」への支援の充実		授業を大切にさせる。継続的に学習を行い、学力の向上を図る。	積極的な姿勢で授業に取り組みさせる。 (活動指標) ①授業を受ける態度②授業準備物に対する意識向上③教員間の綿密な情報交換	3	3	3.45	4	
			家庭学習を習慣化し、基礎学力を身に付けさせる。	(活動指標) ①科目に応じた予習・復習②小テスト③週末等の課題④学習計画表	3				
			3 自主活動の充実・向上	考査や模試を機会に学習方法を反省し、学力の向上を図る。	(活動指標) ①学習計画を指導②考査前の質問機会設定				3
	2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成		高校生として自律した生活習慣を確立し、責任ある行動がとれる力を養う。	校則を守ることを意味を考えさせ、端正な身だしなみを心がけさせる。 (活動指標) ①制服②時間厳守(集会5分前、授業1分前着席)③マナーの向上	4	3	3.53		
			挨拶の励行と敬語の正しい使用を習慣化させる。	(活動指標) ①挨拶(授業時、日常) ②職員室での作法	3				
			保護者との連絡を密接にとる。	(活動指標) ①学年通信の発行②遅刻・欠席連絡	3				
	2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成		互いが尊重し合い、高め合う集団作りを進める。	行事を通して忌憚のない意見を出し合い切磋琢磨しあう雰囲気を作らせる。 (活動指標) ①北摂祭②遠足③球技大会	3	3	3.33		
7 グローバル社会に通用する能力の育成			コミュニケーション能力(自分と異なる考えの受容、思いやりを持った言動)の向上を促す働きかけを行う。	(活動指標) ①人権HR②探究活動③LHR活動	3				
集団の役割を通して自己有用感を高め、帰属意識や連帯感を醸成する。			(活動指標) ①日直の活用②委員・係活動の活性化③清掃など奉仕活動への積極的参加	3					
2年	1 生徒の「学の究め」への支援の充実		5分前行動を励行させ、余裕を持った行動を身につけさせる。	(活動指標) 授業者や指導者自らが教室や集合場所にいち早く立ち、定刻に始業する。	4	4	3.42	4	
			3 自主活動の充実・向上	小テストや課題に積極的に取り組み、家庭学習を習慣化させる。	(活動指標) 実施計画表を示して早めに取り掛かるとともに、提出状況や内容を把握する。				4
	2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成		集団生活のルールを守り、高い規範意識を持つ人材を育成する。	校則を守ることを意味を考えさせ、端正な身だしなみを心がけさせる。 (活動指標) 気になる生徒に対して声掛けをするとともに、生徒同士による風紀検査を実施する。	4	3	3.41		
			次に使う人のことを考え、整理整頓を励行させる。	(活動指標) トイレのスリッパなどの整頓状況を把握し、適宜注意喚起を行う。	3				
	2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成		互いに尊重し、高め合う集団作りを進める。	挨拶の励行と敬語の正しい使用を習慣化させる。 (活動指標) 挨拶や丁寧な言葉遣いが人間関係を築くことを辛抱強く伝える。	4	4	3.43		
			5 「人間科学」「三素(総合的な学習の時間)」を中心としたさらなる特色化	行事を通して、忌憚のない意見を出し合い、切磋琢磨しあう雰囲気を作らせる。	(活動指標) 学年リーダー会やクラスでの話し合いの時間を十分にとり、建設的な意見を出し合う雰囲気を作る。				3
			3 自主活動の充実・向上	進路実現に向けての意識を高め、情報収集力と向上心を高めさせる。	オープンキャンパスへの参加を勧め、明確な将来像を描かせる。 (活動指標) 大学の情報提示を行い、オープンキャンパスへの参加を促すことで、中たるみをしないように刺激を与える。				4
4 キャリア教育の推進と高校段階におけるキャリアアンカーの育成			模擬試験を軸とした学習計画をたてさせ、基礎学力を身につけさせる。 (活動指標) 短期・中期・長期の学習計画を立て、その成果を模擬試験ではかるというサイクルを確立し、学習意欲を持続させる。	3	4	3.42			

部署	学校経営の重点	各部・学年の重点目標		評価指標	評価1 自己評価	評価2 自己評価	評価3	学校関係者 評価
		項目	実践項目 具体的な活動・取組項目					
3年	2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成	責任ある言動の基、進路実現に向けてやり抜く力を養う。	周りへの気配りをし、爽やかな挨拶を励行できるようにする。	(活動指標) 言葉遣いや態度を考えることにより、人との関係の構築方法を伝える。	3	3	3.34	4
			端正な身だしなみを心掛け、制服は正しく着用する。	(活動指標) 身だしなみを整えることで、気持ちを整えられることを伝える。	3			
			家庭学習の自己管理することで、進路実現に向けての力を培う。	(指導指標) 家庭学習時間を記録させ、自らの力で自己管理をさせる。	4			
	1 生徒の「学の究め」への支援の充実	生涯学習能力を高め、「生き抜く力」を育成する。	ベル着と授業前後の挨拶を励行する。	(活動指標) 授業者や指導者自らが教室や集合場所にいち早く立ち、定刻に始業する。	3	3	3.45	
			自ら考え、自ら行動することで、目標に向けてやり抜く力を養う。	(活動指標) 進路目標に向けて、学習計画を立て実施していく。	3			
			グローバルな視野を持ち、主体的に研鑽する力を育む。	(指導指標) 自ら様々な課題を見つけ、解決する。	3			
5 「人間科学」「三素(総合的な学習の時間)」を中心としたさらなる特色化	3 自主活動の充実・向上	自ら課題を発見し、解決に導く志向性と行動力を育成するとともに、探究する心を養う。	委員会活動等に積極的に参加し、リーダーシップと責任感に満ちた主体性を養う。	(指導指標) 各種委員会を積極的に活用し、主体的な取り組みをする。	4	4	3.50	
			4 キャリア教育の推進と高校段階におけるキャリアアンカーの育成	学校行事や部活動に全力で取り組む中で、様々な課題を考察し、解決する力を培う。	(指導指標) 最終学年として、悔いを残さず全力で取り組ませる。			4
総務	6 地域に愛され信頼される学校	各部、各学年の調整を図り、円滑な教育活動を目指すとともに、育友会・同窓会などとも連携して、保護者や地域に信頼される学校づくりを目指す	各種の学校行事について、連絡・調整と内容の精選を図る。特に、修学旅行について本校にふさわしい修学旅行の方向性を決める	幅広い情報収集と調整および必要勝つ適切な情報発信をする	4	4	3.40	4
			体育的行事や文化的行事の案内を、保護者や周辺地域に積極的に発信する		3			
			オープンハイスクールや学校公開を効果的に実施する		4			
	7 グローバル社会に通用する能力の育成	国際理解教育の推進に取組み、国際社会においても活躍できるたくましい生徒の育成を図る	オーストラリアへの短期留学生派遣に伴い、入念な事前研修と有意義なる留学プログラムを実施する	姉妹校との緊密な連携を通じて交流を深めるための機会提供を適切に図る	4	4	3.56	
			国際交流事業の報告集である「HSメイト」を発行し、情報の共有と本校生の国際的視野育成を図る		3			
	4 キャリア教育の推進と高校段階におけるキャリアアンカーの育成	3 自主活動の充実・向上	防災教育を充実させ、危機対応能力を高めるとともに、保護者や地域への情報発信と連携を進め、安全で安心できる学校生活の実現を図る	現実に応じた災害発生時の防災マニュアルを作成し、それにもとづいて防災訓練や防災教育を実施する	平常から防災に対する情報提供をし、実際の場面を想定した防災意識の向上を図るための行事計画を立案する	4	3	
3 自主活動の充実・向上				防火栓、消火器、防火扉など防火防災設備の適正な配置や正しい使用方法を定期的に確認する		3		
教務	1 生徒の「学の究め」への支援の充実	授業のさらなる改善に取り組むことで、「学の究め」への支援の充実をめざす。	授業公開等により教職員がお互いに切磋琢磨できる環境をつくる	(活動指標) 各教科で授業公開(研究授業)が行われ、その後協議が行われた。	3	3	3.23	4
			生徒による授業評価を活用し、その結果を全職員の授業改善に生かせるようにする	(活動指標) 全職員が生徒による授業評価調査を実施し、その結果を集約して提示する。	4			
			5 「人間科学」「三素(総合的な学習の時間)」を中心としたさらなる特色化	人間科学・三素を代表とする様々な機会で、発表する力をつける。	(活動指標) 人間科学・三素の講座のまとめとして、生徒による発表や活動のまとめができた。			
	教育活動の円滑かつ効率のよい実施に努める。	本校の特色を生かせ、かつ効率的な教育課程の編成に取り組む	(活動指標) 現時点で最適な教育課程が編成できた。	3	4	3.35		
		7 グローバル社会に通用する能力の育成	自習を極力減らすなど、授業時数をできるかぎり確保する	(活動指標) 可能な限り自習の時間を減らすことができた。			4	
	7 グローバル社会に通用する能力の育成	3 自主活動の充実・向上	生徒の学習状況を把握する調査を実施し、結果を活用できるように提供する	調査を行い、結果を集計し提供できた。	(活動指標) 調査を行い、結果を集計し提供できた。	4	3	
校務処理の環境整備をはかる。				定期考査・期末処理などが円滑に実施できるように支援する。	(活動指標) 定期考査・期末処理が円滑に実施できた。	4		
		コンピュータによる校務処理の円滑な実施に努める	成績処理・指導要録の処理が円滑に実施できた。	(活動指標) 成績処理・指導要録の処理が円滑に実施できた。	3			

部署	学校経営の重点	各部・学年の重点目標		評価指標	評価1 自己評価	評価2 自己評価	評価3	学校関係者 評価
		項目	実践項目 具体的な活動・取組項目					
進路指導	1 生徒の「学の実践」への支援の充実	生徒自ら進路を選択・決定できるキャリアアンカーの育成	生徒が参加・体験できるキャリア研修などの企画・実施	一日大学体験講座や大学訪問・企業訪問などを行う。	4	4	3.45	4
			進路指導室の充実・生徒利用の促進。	進路指導室の生徒利用	4			
	5 「人間科学」「三素（総合的な学習の時間）」を中心としたさらなる特色化	本校の生徒の進路希望・進路実態に応じた情報提供につとめる。 HGLC（SGHアソシエイト）の推進。	生徒向けの進路講演会などの企画・実施。	「人間科学類型特別授業」やHGLC講演会の実施。	4			
			『進路のしおり』・『進路通信』の配布・活用	年間計画のなかで、実施できたか。	4			
7 グローバル社会に通用する能力の育成			『進路通信』の発行	2				
図書情報	1 生徒の「学の実践」への支援の充実	情報機器を授業に活かせる環境を整備し、各教員の授業の質向上を支援する	・生徒系ネットワークの保守整備を行い、ICT機器を利用した授業ができるようにする	・授業用PC及び無線LANの安定稼働を支援する	3	3	3.48	4
			・ICT機器を授業で円滑に利用できるように研修を行い、授業におけるICT機器の利用促進を行う	・生徒系ネットワークの活用方法と活用事例などについての職員研修を行う	3			
			・職員系ネットワークの保守・管理を行い、教材作成や校務が円滑に行えるようにする	・職員系ネットワークの保守・管理を行う	3			
			・生徒系校内WEBを設置運用し、授業環境の充実を図る	・グループウェアの安定稼働を支援する	3			
	図書館の利用促進に努め、生徒や教員にとって利用しやすい環境を整備する	・図書館の広報活動を充実し、生徒の読書活動の促進を図る	・「北摂三田一押し本百選」の選定・掲示	3				
	・図書館の蔵書数を増やし、魅力ある図書館の環境整備に努める	・「図書館便り」の発行	4					
6 地域に愛され信頼される学校	広報活動の支援や保護者・地域の方々への本校活動の理解を深める支援を行う	・学校HPの更新を密に行う	・学校HPの更新を迅速に行う	4	4	3.61		
5 「人間科学」「三素（総合的な学習の時間）」を中心としたさらなる特色化	図書館の環境整備を行い、「人間科学」「三素」での利活用を促進する	・県立図書館や三田市立図書館などと連携し、利用できる書籍の幅を増やす	・県立図書館の「セット貸出」などの利用促進を図る ・三田市立図書館の貸し出し利用の機会を増やす	4	4	3.27		
	「人間科学」「三素」における情報機器の利活用を促進する	・4日教室の情報機器を整備し、授業で利用しやすい環境を作る	・4日教室の情報機器の保守管理を行い、利用を促進する	3				
保健	2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成	心身共に健康で安全な学校生活を送ることができるよう、各部・学年・教科と連携して、保健活動、教育相談の充実に取り組む	心身共に健康で安全な学校生活を送ることができるよう、各部・学年・教科と連携して、保健活動、教育相談の充実に取り組む	定期健康診断を実施し、診断結果問題が明らかとなった生徒については保護者との連携のもと速やかに問題解決できるよう指導する。	3	3	3.39	4
			睡眠や食事など基本的な生活習慣の確立に努めるよう指導すると共に、健康相談、教育相談の充実を図る	保健室や相談室を活用し、生徒の心身の状況を速やかに把握する。キャンパスカウンセラーの相談活動がスムーズに行えるよう計画調整する。	3			
	3 自主活動の充実・向上	発育状況や体力、運動能力などの各種結果を分析し、自主的な健康管理、体力づくりに役立てるよう指導する	各種検査の結果をまとめて分析し、生徒には保健便りで啓発し、また職員保護者には学校保健委員会などで報告し、活用する。	4				
			緊急時に組織的に対応するため、校内救急体制の徹底や救急処置法の習得、安全意識の向上に努める	年度のはじめに、「保健のしおり」を全教職員に配布し、救急体制の徹底を図ると共に、随時意識の涵養を図る。	3			
	2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成	主体的な健康づくりの基礎を培えるよう、健康教育の充実を図る	発達段階に応じて、次の内容で各学年に保健講演会を実施する。 1年生：薬物乱用防止 2年生：性教育 3年生：ストレスマネジメント	各学年の状況に合わせた内容、講師の選定を行い保健講演会を実施する	3			
			救急法講習会や部活動、授業などを通して、自らの潜在的危険を予測できる能力を高めるよう指導する	職員および生徒への救急法講習会を実施すると共に、保健便りなどを用いて、随時啓発に努める	3			
3 自主活動の充実・向上	環境美化活動や学校衛生活動を通して、大切にすることを育成し、持続可能な社会を形成する意識を醸成する	心豊かな学校生活を送るため、校内美化、ゴミの分別収集に努めるよう指導する	毎日の清掃活動がスムーズに行えるよう清掃監督を適正に配置し、折ごとに大掃除を実施する。	3	3	3.20		
		環境衛生検査や安全点検を行い、学習環境の向上に努める	教室など施設の環境衛生検査や安全検査を適宜行う。	3				
		学校行事などで、リサイクルや分別、ゴミの減量化に自ら取り組む態度を養えるよう指導する	北摂祭において、整美委員会を中心に指導し、ゴミの分別と減量化に努める	3				
生徒指導	2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成	生徒が自律的な生活態度を身につけるための働きかけをする	基本的な生活習慣を確立させるための働きかけをする。 ①登校時の指導 ②挨拶の励行、端正な身だしなみ、時間厳守	登校時指導を80%程度実施した。	4	4	3.44	4
			規範意識を向上させ、それを実践させるための働きかけをする。 ①拡大生徒指導部会で問題行動の予兆を把握し、防止のための方針を策定 ②情報モラル講演会の実施	拡大生徒指導部会の定期的開催した。 情報モラル講演会を円滑に開催した。	4			
	3 自主活動の充実・向上	生徒会中心の学校行事や部活動を通して主体性や社会性の育成を図る	学校行事の企画・運営を行う。 ①北摂祭 ②種々の生徒会活動の活性化 ③球技大会の円滑な実施 ④生徒会費の管理 ⑤体育部長会の実施	学校行事を円滑に実施し、次年度へ向けての反省をすることができた。	3			
			地域貢献活動を実施する。 ①ハイマートフェスト ②さんすい園訪問 ③北摂祭公開 ④ハニーFM出演	地域貢献活動の実施に当たり、積極的に生徒が中心的な役割を果たした。	4			
2 高校生としての確かな生活習慣と豊かな心の育成	交通事故防止に向けて取り組む	主に自転車の安全運転を励行させるよう働きかけを行う。 ①駐輪場割当、鑑札の発行、駐輪指導 ②交通安全教室の実施 ③自転車点検 ④登下校指導の割当	交通安全講話を実施し、自転車指導において、地域住民からの意見が、月平均2件以内となった。	3	3	3.33		